

実証実験モデル詳細

デジタル簡易無線のデータ伝送における周波数の有効利用に資するための調査検討会 デジタル簡易無線(DCR)を用いた新しい利用方法について検証する実験

実施日：平成21年11月23日(勤労感謝の日) 10:00～15:00

実施場所：内灘町白帆台 白帆台公民館及び一般住宅(協力者宅)

実験内容：

1. DCRを利用した遠隔操作(白帆台→能美市北陸先端大学)

公民館に設置されたスイッチを操作しDCRを利用して約25km離れた先端大学付近に設置されたモデルハウスのひさしの開閉を行い、その状況を公民館でモニター表示する。

2. DCRを利用したセンサー情報の伝送

白帆台の住宅及びその屋外に設置した温湿度センサー情報をDCRを利用して伝達し、公民館で、その情報を受けてモニター表示する。(このシステムを応用すれば屋外と屋内の温湿度差等を利用してカーテン等の開閉等を行うなどエコ住宅の一部に応用可能)

3. DCRを利用したコミュニティバスの位置情報の伝達

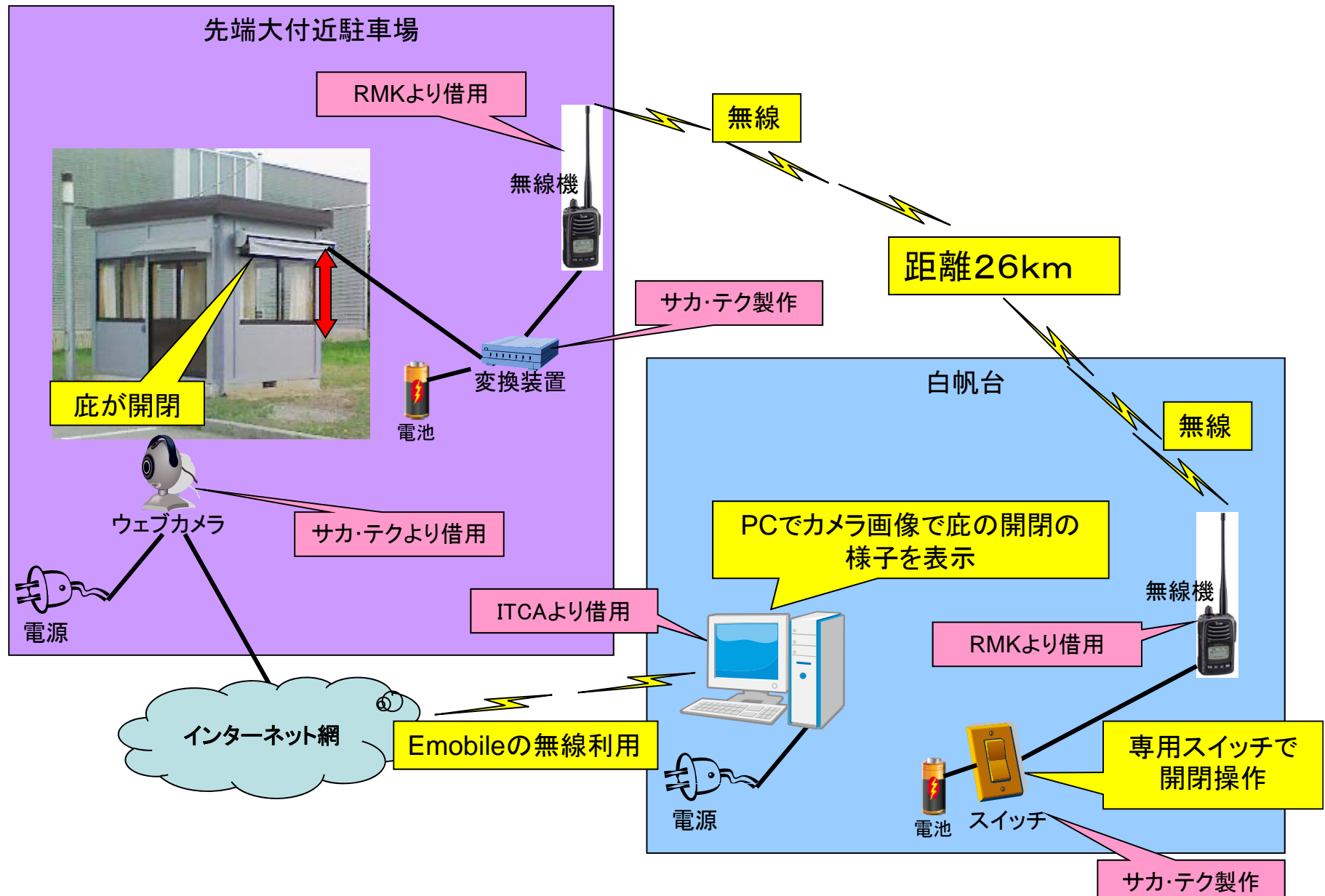
町を循環しているコミュニティバスにGPSを設置し、バスの位置をDCRを利用して伝達して公民館でバスの位置をモニター表示する。

4. 静止画像の伝送

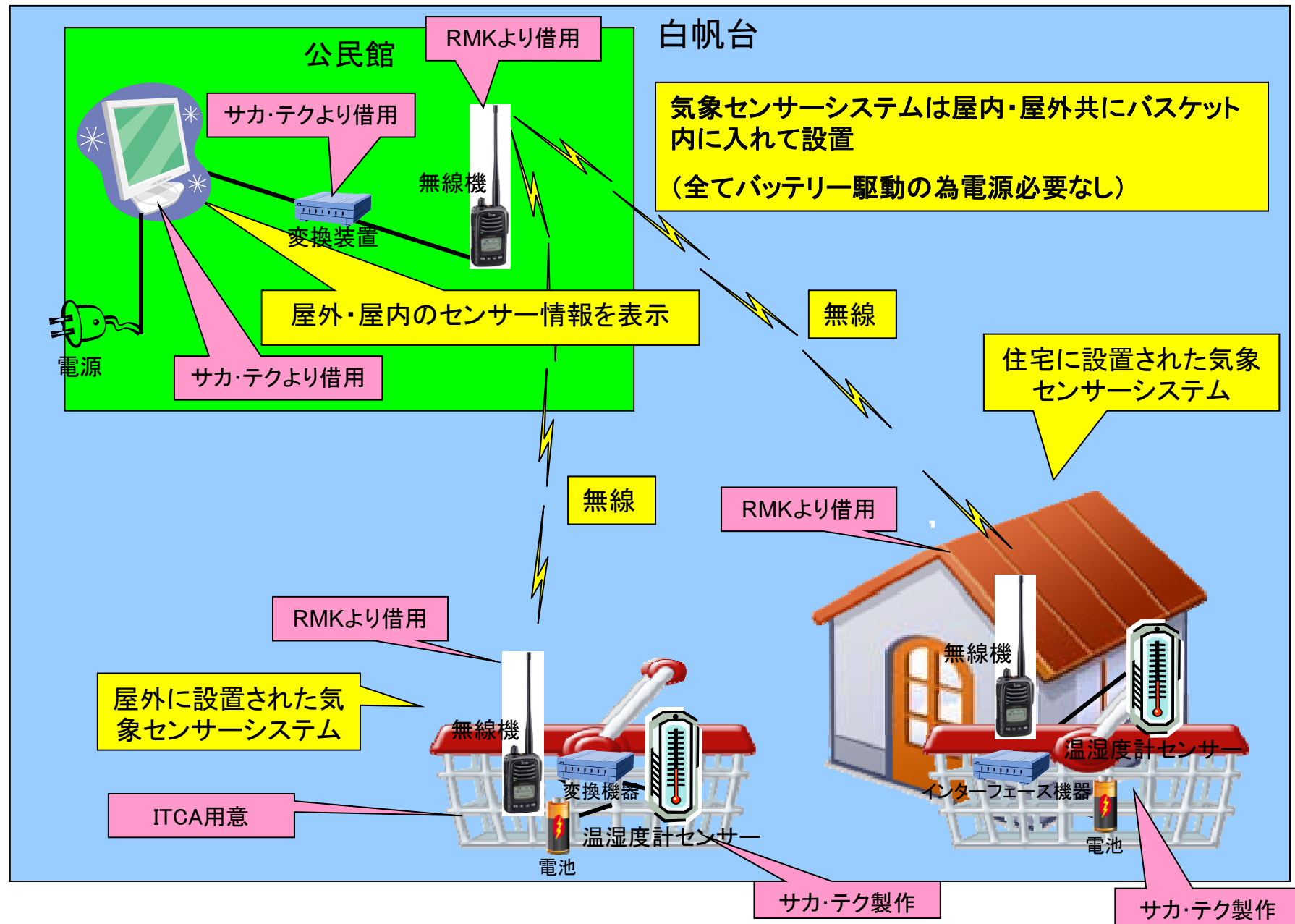
屋外にカメラを設置し、DCRにより静止画像を伝送して公民館でモニター表示する。

◎公民館での実験は、公開して行います。

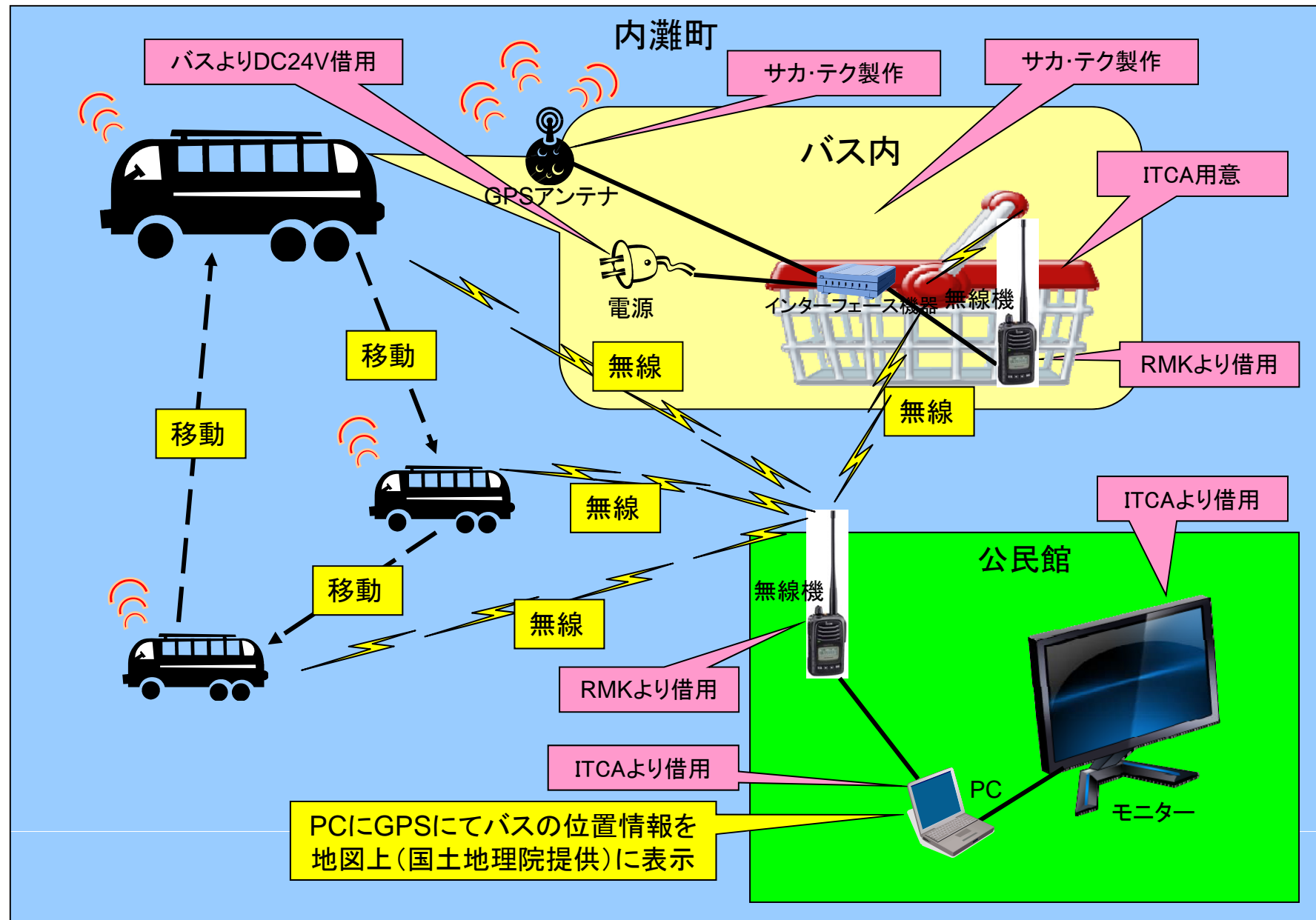
1. DCRを利用した遠隔操作



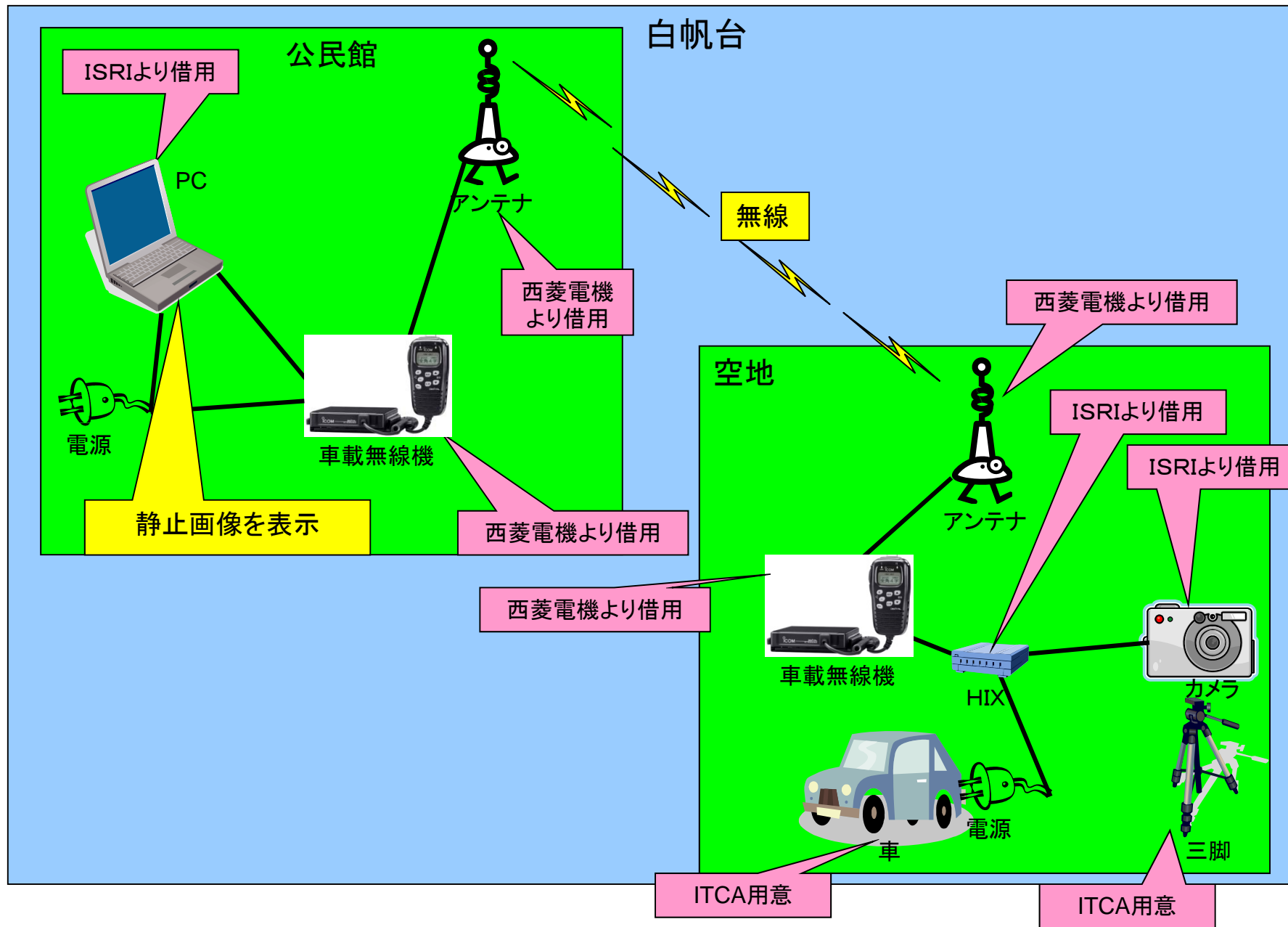
2. DCRを利用したセンサー情報伝送(窓・カーテン等の開閉を行い省エネを推進する)



3. DCRを利用したGPSによるコミュニティバス位置情報伝送



4. 静止画像の伝送



現在までの進行状況(2009/10/19)

1. 遠隔操作:サカ・テクノサイエンス担当
 - ・動作確認・単体試験完了。・先端大学側機器ソフト変更、機器収容ボックス製作。
2. センサー情報伝送:サカ・テクノサイエンス担当
 - ・単体試験完了。・センサー、電池、収納ボックス製作。
3. 位置情報伝送:サカ・テクノサイエンス担当
 - ・単体試験完了。・インターフェース機器収納ボックス製作。・屋外／屋内センサーポーリング試験。
 - ・バスからの電源借用はメーカーに問い合わせ中
 - ・内灘町南部循環バスに搭載する事に決定し、南部循環コースでの電波状況確認済み(10/18)
4. 静止画の伝送:ISRI担当
 - ・単体試験完了。・新しい無線機の伝送フォーマットでの試験。